

保健室は学校の 病院でしょうか？

私は *NO* だと思う。

「保健室は学校の病院」「養護教諭は学校のお医者さん」。そんなイメージを持っていませんか。もちろん医学的な知識は大切ですが、学校全体で子どもの健康を育み、その学びを基礎から支える専門家でもあります。子どもの身体・健康状態を把握して、身体能力の向上や健康増進につなぐ。子どもを元気にして、学校や地域、そしてみんなをイキイキさせる。そんな面白い仕事をしたい。養護教諭を目指しませんか。



津島 愛子 TSUSHIMA AIKO	専門	学校保健医科学		
	研究キーワード 運動器検診 ストレッチング 健康科学 整形外科学			
教育学域 講師	授業内容 健康科学の理論と実践を基盤に、講義や文献講読を通じて現代の子どもたちの健康状態を把握し、養護教諭に求められる役割や具体的な支援の在り方について探求する。特に、子どもに多く見られる運動器疾患(外傷や障害を含む)に焦点を当て、その原因を理解し、予防及び対応について学ぶ。	主要研究課題 「学校現場におけるREDs（スポーツにおける相対的なエネルギー不足）の実態」、「運動器検診を効果的な保健管理・保健教育に活かすための保健調査票とストレッチングプログラムの提案」、「実業団女子陸上競技部に所属する女子長距離選手における疲労骨折の現状と課題」など学校、スポーツ現場における運動器に関する実態調査や予防に関する研究に取り組んでいる。	もっと知るには 	
大学院: 教育科学専攻(修士課程) 担当				
学 位 博士(学校教育学) (兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科) 学士(医学) (岩手医科大学)				

津島の学校保健医科学



養護教諭としてイキイキと活躍し続けるには、学校保健の知識だけでなく、周囲と連携する力が重要です。「困る前の準備」「環境づくり」「行動力」を育み、現場で実践する力を育成します。学校全体で支え合う雰囲気を作り、より豊かな教諭人生を目指しましょう！

01
養護教諭人生を
イキイキさせる

02
現役臨床医による
ハイレベルな知識



病院での整形外科臨床医としての勤務を活かし、実際のレントゲンや治療などから得た知見を指導に取り入れています。教科書では伝えきれない怪我の詳細や回復の過程を知ること、児童への理解や対応がより深まり、向き合い方も変わっていくことでしょう。



プロスポーツチームのDr.として培った、選手のコンディション管理や怪我の予防策は、保健室での対応にも役立ちます。怪我の応急処置や原因追求、再発防止策など、現場で磨いた知識やノウハウを基に、実践的なスキルも伝えていきます。

03
プロアスリート級
現場での対処法

04
怪我や病気を防ぐ
伝え方



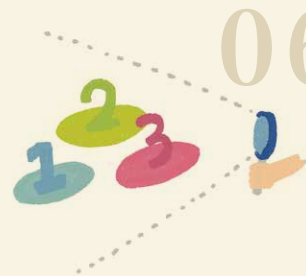
病院の診察と違い、健康な人に病気や怪我への関心を持ってもらうには、伝える工夫が必要です。聞き手の気持ちを想像し、ストーリーやケースメソッドを活用することで、「自分ごと」に感じてもらえます。この技術は、学校内でコミュニケーションを円滑にする力にも繋がります。



05
今、私が力を注いで研究を進めているのがREDsについて。スポーツに取り組むことは大方カラダに良いことだと思いがちですが、子どもたちが健康に発育するためには個々のレベルに合わせた強度を考慮することが重要です。誤った指導が行われないように、研究・啓蒙を進めています。

子どもの発育・発達を
応援できる研究を

06
学校・病院・プロスポーツ、
3つの現場で



附属学校、医療機関、そしてプロスポーツの現場、3つの現場を対象に研究を行うことも、ここなら容易です。多様なフィールドを掛け合わせることで、より深い濃密な研究が期待されます。異なる領域での出会いや経験も、あなたの視野を広げ、大きく成長させてくれることでしょう。



07
実践研究から
統計分析まで

実際の教育現場を体感できる機会をしっかりと用意しています。健康診断等のボランティア活動は現場の先生とゆっくり会話できるいい機会にもなるようでオススメです。また研究に不可欠な統計スキルまで身に付けられます。統計ソフトの使い方から分析力の強化まで、実践的な経験を積んでもらえます。

08
やる気を信じる
柔らかな指導



考える時間やディスカッションを大切に、「学ぶきっかけ」を提供することを心がけています。一人ひとりの個性や考え方に寄り添いながら、やる気や成果を引き出すアプローチを重視。意欲的な学生がどんどん成長する姿から、私自身も多くの学びを得ています。

研究室からの風景

SCENERY FROM THE LABORATORY

思い

教育の可能性

養護教諭の能力向上は、学校保健全体の質を高めます。それはやがて、教職員や児童生徒が健康で元気で、やりたいことに挑戦できる社会の実現につながります。

困った時の

助けの

求め方

わかる？

話は

ゆっくり

最後まで

聞くタイプ

自分から

つながる力を

育てよう

研究の話

共同研究

実践研究の一環として、現職の先生方が忙しくて取り組みづらい「分析・考察」などを支援し整理・体系化。これにより研究室も現場の知見を獲得し、実践的な研究を深めています。

顔見知りが多いので、

許可どりが

スムーズ

ですよ

学生の話

データ

サイエンス

データサイエンスを得意とする彼女は、大学の活動以外にも、現職の先生との勉強会で、生成AI等の情報を提供したり。得意なことは世界をどんどん広げてくれますね。

指導というよりも

ヒント提供が得意

スポーツ選手は

健康のモデルに

なりにくいよ

卒業生の話

現職を経て

研究者に

ジェンダーに関する研究をしていた彼女は、数年の現職を経て、今は大学教員、博士課程で研究者として頑張っています。可能性は色々広がりますね。

スポーツ

医療

学校

笑い声が

隣の部屋まで

響くような

研究室です

卒業後の

相談事も

大歓迎

ストレッチの動画教材

つくってみる？

津島 愛子

TSUSHIMA AIKO

専門

学校保健医科学

研究キーワード 運動器検診 健康科学 整形外科学

もっと知るには

